

『100キロウォークとアテネ危機とRun for Peace』の関係

皆さんこんにちは。寒くなって参りましたね。今日が立冬だそうです。
お鍋の季節ですね。コタツでお鍋を食べながら紅白！その後コタツミカン！！1年で1番ほっとする時間帯、もう少しのところまで来ましたね～！！

さて、先月お知らせした三河湾100キロウォークの件ですが、結果報告です。
なんと5名全員完歩しました。それも全員24時間以内です。今回で8年目の挑戦ですが、かなりレベルの高い集団となって参りました。ここまで粒ぞろいの団体はなかったのではないかと自負しております。それも前日までろくに練習もしないで、ヘルメットかぶって作業していて、当日もヘルメットかぶったまま100キロ歩いてますからね(笑)！強烈な学びの社員研修をさせていただいております。主催の七福醸造さんに感謝です！！
そしてもう一つの社員研修でもあります、東名岡崎インター掃除に学ぶ会も来年6年目になり、今年の12月で第60回目となります。毎月拾っても拾っても減らない手ごたえのあるゴミの漁場は岡崎にはなかなかないので、社員教育、自己成長の場として非常に重宝させていただいております。

先月、NPO日本を美しくする会の田中義人会長がルーマニアに招待され、ルーマニアの方たちと一緒に街頭清掃をされたそうです。掃除という行為と経済活動が、実は非常に深い根の部分で結びついているということにルーマニアの一部の方たちは気づいているということだと感じました。そして残念ながらギリシャの上層部の方たちはそのことに気づいていないのであの歴史的建造物の前がゴミの山で埋もれてしまっている残念な映像が世界中に配信されてしまったのだと思いました。



街頭清掃でも、する前は実は少し気が重かったり眠かったです。
でもやり終えた後は必ず何とも言えぬ気持ちよいエネルギーが湧いてきます。
このお金で買えない独特のエネルギーを日々充電できるか、
あるいは気の重いままにして、自分は動くことなく、権利のみを主張して不満を募らせていくか。
国民一人一人のほんのわずかな心の持ちようが、社会をつくって行くのだと思います。
だからこそ政府ではなかなか実施できない心の部分の行政改革を縁の下の力持ちとして実施する民間団体が必要とされているのだと思います。



そんな頑張っている民間団体を支援するチャリティーを実施します。
『愛(チャリティー)の聖地、モリコロパークへRun for Peace!』
12月18日(日)愛・地球博跡地モリコロパーク AM10時～です。
ノーガードで殴られっぱなしの様な悔しさを感じたあの津波の映像をTVで見せられてから、ずっと取り組んできたチャリティーイベントです。素人の手作りで至らぬ点は多々あるとは思いますがぜひ遊びに来てください。楽しむことが東北の支援につながるように企画しました！！

感謝!! 羽原 篤史 

(内容)

各界の講師による『一步踏み出す勇気の秘訣』というテーマの講演会
講師が応援している東北支援の団体の活動報告
参加者には平和のオレンジのマフラーと万歩計がプレゼントされ、
自分の応援したい団体の為にラン&ウォークで汗をかいて歩数を稼ぎ、
歩数を投票する。歩数の合計の割合で各団体の支援金が決定する。
家族でも楽しめるようにライブ音楽、大道芸、屋台も充実。
ライブだけでも130名を超えるアーティストが賛同し、東北復興の音楽を奏でる。参加して、楽しむことが、誰かの為になる。東北の為になる。

